

都市再生整備計画

はらみず
原水地区

くまもと きくようまち
熊本県 菊陽町

令和5年11月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

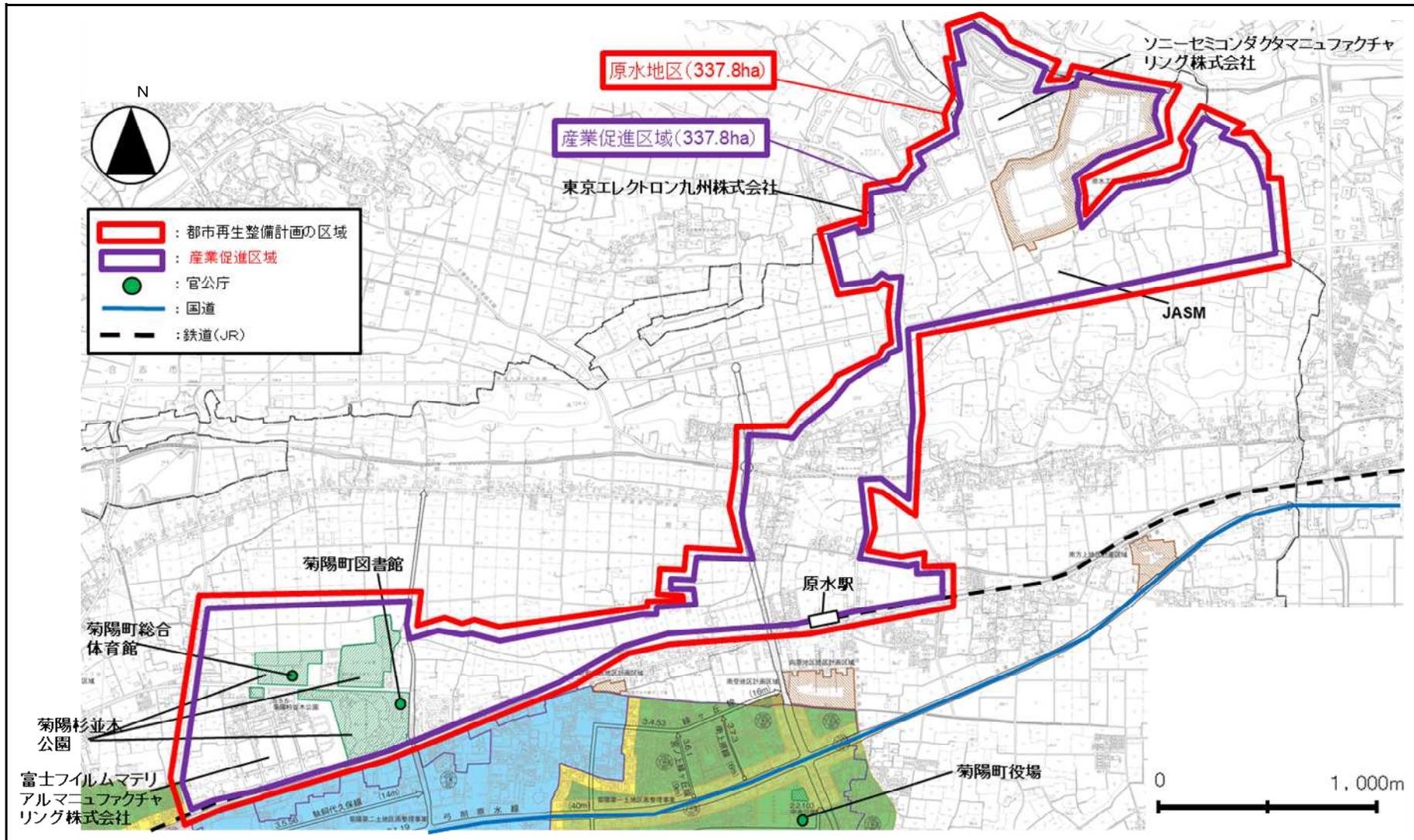
都道府県名	熊本県	市町村名	きくようまち 菊陽町	地区名	はらみず 原水地区	面積	337.8	ha
計画期間	令和	5	年度	～	令和	7	年度	
				交付期間	令和	5	年度	～
					令和	7	年度	

<p>目標</p> <p>半導体企業の立地により得られる効果を適切に還元し、誰もが住みやすい豊かなまちづくりを推進</p> <p>【大目標：半導体企業の立地を踏まえた都市整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標1：半導体企業の町工業団地への立地による雇用創出(新規雇用:1,700人) ・目標2：経済発展や人口増加に対応した誰もが住みやすい豊かなまちづくりの推進
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菊陽町では、早くから、将来の幹線を担う道路整備と大規模な土地区画整理事業により、質の高い面的整備を進めてきた。 ・また、工業団地の整備にも積極的に取り組み、県の工業団地(セミコンテクノパーク)も含めて、多くの企業が進出している。さらには、大規模な商業施設の立地や住宅の建築等もあり、都市化が進み、人口が増加している状況。 ・そのような中で、令和3年度に世界最大手の半導体企業の進出が決定し、現在、道路整備など社会基盤の整備を国・県とも連携して早急に進めている。 ・今後、更なる企業進出等の開発が期待される一方で、交通渋滞が最重要課題となり、道路整備と合わせた地域公共交通の拡充が急務であるとともに、経済発展や人口増加に対応するため、公園整備や駅整備、駅を中心とした市街地整備等の都市整備を進めていく必要。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の進出等が続く中、交通渋滞が最重要課題となり、道路整備と合わせた地域公共交通の拡充が急務。 ・今後の経済発展や人口増加に対応するため、公園整備や駅整備、駅を中心とした市街地整備等の都市整備を進めていく必要。 ・誰もが住みやすい豊かなまちづくりを進めるため、特に人口増加が著しいエリアを中心に公園や緑地の拡充が不可欠。 <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>①第6期菊陽町総合計画(2021-2025)(令和2年度策定) ※状況変化を踏まえ、令和6年度に改定予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園・緑地の整備・維持管理。 ・JR原水駅周辺の市街地整備、JR新駅の設置及び周辺の市街地整備。 ・工業用地の確保。 <p>②菊陽町都市計画マスタープラン(2021-2040)(令和2年度策定) ※状況変化を踏まえ、令和6年度に改定予定</p> <p>【人口増加や高齢化に備えた計画的な都市づくり(豊かな暮らしの創出)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の受け皿となる住居の確保、町の顔となる拠点や地域の生活拠点への都市機能の誘導。 <p>【まちの活力や魅力が維持、向上された都市づくり(人と緑が育む都市環境)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地や公園などの地域固有の豊かな自然環境や資源の保全、地域経済を支える産業の場が確保された町の一体的かつ調和のとれた地域活力のある都市づくり。 <p>【移動しやすい環境が形成された都市づくり(継続的に利用しやすい交通サービスの維持)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが継続して利用できる公共交通の充実、歩行者にやさしい生活道路の整備。
--

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【全体方針】 ・今後の経済発展や人口増加に対応するため、地域公共交通の拡充や交通渋滞緩和のための職住近接の観点から、駅整備や駅を中心とした市街地整備、公園の整備等を行い、誰もが住みやすい豊かなまちづくりの推進を図る。</p> <p>【基幹事業】 ・産業集積に伴う新たな人口増加が見込まれる中、町内の住環境・レクリエーション機能の向上を図るため。</p> <p>【提案事業】 ・当該計画の事業効果を検証するため事後評価を実施する。</p>	<p>【基幹事業】 (公園)第1公園整備(町民グラウンド)</p> <p>【基幹事業】 (公園)第2公園整備(アーバンスポーツ施設)</p> <p>【提案事業】 事業効果分析</p> <p>【関連事業】 JR新駅整備</p> <p>【関連事業】 駅を中心とした市街地整備(土地区画整理事業)</p> <p>※その他の関連事業は整備方針概要図のとおり。</p>
その他	

原水地区(熊本県菊陽町)	面積	337.8 ha	区域	菊陽町大字原水字北畠、馬場、水尻、八町、小平ノ上、上中野及び大字津久礼字上沖野の全部、字北下原、新町、町下、北畠、下八町、古閑原上、上大谷、下大谷、村上、井手ノ上、大人足、西佐渡原、北上原、上長塚、上堀川、上前通、中前通、下前通、下中野、及び大字津久礼字下沖野の各一部
--------------	----	----------	----	--



原水地区(熊本県菊陽町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

目標	半導体企業の立地により得られる効果を適切に還元し、誰もが住みやすい豊かなまちづくりを推進 【大目標：半導体企業の立地を踏まえた都市整備】 ・目標1：半導体企業の町工業団地への立地による雇用創出(新規雇用:1,700人) ・目標2：経済発展や人口増加に対応した誰もが住みやすい豊かなまちづくりの推進	代表的な指標	新規雇用	人	1300人	R5年度 →	1700人	R7年度
	公園面積		m ² /人	9m ² /人	R5年度 →	10m ² /人	R7年度	
	公園の利用者		人	114,447人	R4年度 →	200,000人	R8年度	

